

報告日 令和7年2月25日
報告回次 2日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	滋賀県			代表者名	三日月 大造
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	DX推進課	連絡先電話番号	077-528-3388
担当者役職	主査	担当者氏名	松本 海	連絡先E-mail	
住所	520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	オープンデータ推進事業
概要	当課は県内、市町のオープンデータを推進する立場であり、「HPに掲載したからオープンデータ」ではなく、利用しやすく機械判読性が高いデータに加工し、所定の位置に掲載することが重要と考えているが、様々な課題があると考えており、中々進捗ができていないのでご助言いただきたい。		
支援を求める分野	オープンデータ		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	有	446	令和7年1月28日	事前打合せ	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年1月31日	事前打合せ(オンライン)	9時00分	10時00分	
				活動時間（分）	60
2-2.	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
派遣場所	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	福島 健一郎
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	セミナーを通じて実現したいことを伝え、それに沿った資料の構成にしてくれた。 （事業者を巻き込んでオープンデータ推進の機運を醸成するにはどうしたらよいか。他自治体の事例の紹介、オープンデータ（データ）とは何か、なぜ必要か 等）
アドバイザーへの要望事項	特にありません

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果			
4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	2人
	属性	自治体職員	住民
	人数	2	0
		企業・団体	その他(学生など)
		0	0
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果			
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	<p>オープンデータを推進するにおいて、以下の4つの課題があると認識している。</p> <p>課題1 機械判読性が高いデータへの変換</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開しているデータの再加工が必要な場合があり、二度手間となる。そもそも再加工が難しいデータもある 「機械判読性が高い」オープンデータの作成方法が分からない ※県では作成手順書を整備しているが、すべてを把握している人はごく少数と思われる。 <p>課題2 オープンデータの必要性について理解が得られにくい</p> <ul style="list-style-type: none"> ニーズがある「かもしれない」のでオープンにする、では理解が得られにくい 何らかのニーズやアイデア、または、実際に活用されている事例があれば説得力やすい(例 コミュニティバスのGTFS標準化) <p>課題3 市町原課にお願いするための道のりが遠い(県内市町間でオープンデータ推進に対する温度差があり、課題に思っている。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 例：防災関係のオープンデータを進めたい 1. 県DX推進課 → 各市町DX主管課 → 市町防災・災害担当課 2. 県DX推進課 → 県防災危機管理局 → 市町防災・災害担当課+DX主管課 (2の方がまだ進みそうか) <p>課題4 BODIKにも同時掲載をお願いしているため、さらに負担が発生する</p> <ul style="list-style-type: none"> CMSで自動掲載する機能を実装するほか、簡単なプログラムで自動掲載は実現可能とのこと 		
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 県、市町、事業者が一体となってオープンデータを推進することの意義の共有 		
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 県が主催だが、受講対象者は市町、民間事業者も含まれるため、行政職員向けにならないように配慮いただいた。 事例を多く紹介いただけるように配慮いただいた。 		
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> オープンデータを推進する上では、トップダウンによる推進が有効的だ。 		
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない	
	事前ヒアリングの段階であり、特段成果物はありません。		
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし		
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>事前ヒアリングの段階であり、アンケート等はありません。</p>		
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある	
	県・市町の連絡会議で好事例の共有		
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<p>住民が災害関連情報、公共施設の利用状況、コミュニティバスの時刻表、医療福祉に関連する情報など、日常生活に役立つデータが簡単に得られる機会を創出するとともに、住民自らがデータを活用し、地域課題に対する解決策を提案する機会も増え、行政と協働してまちづくりを進めることを目指す。</p>		

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。